

株式会社芦別振興公社の経営状況等について

はじめに

私は、平成27年4月の芦別市長選挙において、「振興公社の健全な経営」を公約の一つに掲げ、就任以来、「スターライトホテルを第二のカナディアンワールドにしない」ために最善の努力を尽くしてきたところであります。

このため、私は、市長就任後において経営体制を刷新し、経営改善と経営健全化を進めてきたところですが、本市はもちろんのこと、近隣市町を含めた人口減少や高齢化等により利用者の増加や売上の大幅な増加は難しく、利用者へのサービス優先の業種としては固定経費の抑制にも限界があり、赤字を解消することができませんでした。

さらに、平成27年10月には、振興公社の経営資金として新たな貸付を実施せざるを得ない状況となり、市民の皆さんにはたいへんなご心配をおかけし、深くお詫び申し上げます。

今回、これまでの対応について市民の皆さんにご報告するとともに、今後の振興公社の方向性についてご説明申し上げますので、ご理解をいただきたいと思います。

1 振興公社の経営状況について

(1) 最近の決算の推移

振興公社では、①芦別温泉、スターライトホテル、国民宿舎、星遊館などを運営する温泉会計、②物産センターや道の駅を運営する物産会計、③陶芸センターを運営する陶芸会計、④物産センター内の農産物加工室を運営する加工室会計、⑤旭ヶ丘公園、スキー場、オートキャンプ場、カナディアンワールド公園などを運営する事業会計の5つの会計に分けて事業が運営されています。

平成24年度から平成27年度までの振興公社の5つの会計合計の決算の概要は、次の表のとおりです。

○振興公社の全会計合計の決算概要（単位：万円）

科 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
【営業損益】				
営業収益	67,761	65,635	64,356	61,508
営業費用	66,312	69,783	71,776	69,980
営業利益	1,449	△4,148	△7,420	△8,472
【営業外損益】				
営業外収益	145	364	147	227
営業外費用	34	36	95	247
経常利益	1,560	△3,820	△7,368	△8,492
【特別損益】				
特別利益	0	0	0	1,985
特別損失	0	0	0	103
税引前当期純利益	1,560	△3,820	△7,368	△6,610
法人税等	64	8	17	16
当期純利益	1,496	△3,828	△7,385	△6,626
繰越利益剰余金	△2,318	△6,146	△13,531	△20,157

また、全会計に対する割合が6割以上を占め、振興公社の経営に大きな影響をもたらす温泉会計の決算の概要は、次の表のとおりです。

○温泉会計の決算概要（単位：万円）

科 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
【営業損益】				
営業収益	44,262	42,014	40,846	38,295
営業費用	43,068	45,685	48,816	50,335
営業利益	1,194	△3,671	△7,970	△12,040
【営業外損益】				
営業外収益	88	320	106	173
営業外費用	34	36	94	246
経常利益	1,248	△3,387	△7,958	△12,113
【特別損益】				
特別利益	0	0	0	1,978
特別損失	0	0	0	103
税引前当期純利益	1,248	△3,387	△7,958	△10,238
法人税等	64	8	16	16
当期純利益	1,184	△3,395	△7,974	△10,254

(2) 温泉会計決算の概要

① 平成25年度の概要

平成24年度は1,184万円の当期純利益を上げていますが、平成25年度においては、前年度の収支を受けて、社員やパートの給料、賃金、手当等の見直しによる人件費等の経費が増加した一方で、収入が伸びなかったことから3,395万円の赤字を計上する結果となっています。

② 平成26年度の概要

平成26年度は、消費税増税による宿泊者の減少、料理の不評による宴会の減少、売店の閉鎖などにより収入が減少したことに加え、電気料金の値上げ、消費税増税による会社支出の増加などの影響のほか、中途退職者の発生による退職金の増加、会議費や旅費交通費の増加、最低賃金上昇による委託契約の見直しや契約更新、新規顧問契約等に伴う委託料の増加などで、7,974万円の赤字を計上する結果となっています。

なお、平成26年度の会議費や旅費交通費、新規委託契約に伴う委託料などの経費が不正に支出されていたのではないかとこの点については、適切な事務処理がされていなかったものや当時の振興公社にとって必要不可欠なものであったか疑問な点はあるものの、当時の社長による横領・着服などの不法行為はなかったものと判断しています。

③ 平成27年度の概要

平成27年度は、経費の節減に努めながら、いったんやめることとしたインバウンド（訪日外国人観光客）誘致の再開などによる宿泊者の増加や、新たな総料理長の招へいと食事・宴会メニューの刷新、レストラン半額デーや温泉入館半額デーの実施など、日帰り利用者の集客対策を進めたところですが、収入が前年度以下となり、市からチップボイラーの燃料費負担金

1,932万円を受け入れたにもかかわらず、1億254万円の赤字を計上する結果となりました。

(3) 市からの経営安定資金貸付金

この間、市は、振興公社の厳しい経営状況を受け、振興公社の経営改善と経営健全化を求めつつ、会社の存続を図り、市内経済の発展と雇用を守るため、経営安定資金の貸付を行ってきました。

経営安定資金の貸付とその返済状況は、次の表のとおりです。

○ 経営安定資金貸付金の状況

年 度	貸付金額	貸 付 日	償 還 日
平成24年度	2,500万円	H25.1.24	H25.10.16
平成25年度	2,000万円	H25.12.20	H26.10.20
	1,000万円	H26.1.20	H26.10.20
	1,500万円	H26.3.24	H26.10.20
平成26年度	3,000万円	H26.10.20	H28.3.24
	6,500万円	H26.12.25	H28.3.24
	3,000万円	H27.3.25	H28.3.24
平成27年度	9,500万円	H27.10.19	H28.10.18
	1億2,500万円	H28.3.24	H29.3.23

平成25年度に貸し付けた資金の償還はされていますが、平成26年度に貸し付けた資金1億2,500万円は、同日付で借換えが実施され、平成29年3月23日に償還期限を迎えます。

また、平成27年10月19日に貸し付けた資金9,500万円は、すでに償還期限を経過していますが、現在は平成29年3月23日までの償還猶予の措置を取っており、遅延利息（1日当たり7,287円）を生じています。

2 振興公社経営の見直しについて

芦別振興公社は、昭和41年5月24日に設立され、今年で51年目を迎えました。温泉会計において大きな赤字を生じ、また、市からの貸付金償還が実施できないだけでなく、今年度においても新たな資金の貸付が必要な状況となっており、経営を抜本的に見直すことが急務とされています。

このため、抜本的な対応策として、平成29年4月1日から、収支が悪化している温泉会計事業を振興公社から切り離し、指定管理者を民間業者に変更することとし、広く指定管理者の公募を実施しました。この結果、道外1社、道内2社の合計3社からの応募があり、市内部で組織する選定委員会での審査を経て、指定管理者の候補者として道内1社を選定し、市議会に指定管理者の指定に関して提案することとしています。

また、この間、市からの多額の貸付金の処理や指定管理者の変更による円滑な引き継ぎなど、自らが振興公社の経営に当たるべきと判断し、平成28年10月

25日付で振興公社社長に就任したところです。

なお、温泉会計以外の事業については、平成29年4月以降も振興公社において引き続き実施することとし、市内経済の発展と市民生活の向上に資するよう経営を維持していきます。

3 振興公社の経営安定のための新たな資金貸付について

今年度における温泉会計の経営状況は、9月末現在の状況でスターライトホテルと国民宿舎の宿泊者、日帰り利用者ともに増加し、平成27年度に比べて売上は伸びているものの、年間を通して収支均衡となるまでには至らず、12月には、運転資金として、市からの新たな貸付金が必要な状況となっています。

さらに、指定管理者の変更により、振興公社社員の退職が発生し、営業の一部を縮小せざるを得ない状況となっており、今後3月までの間に見込んでいた売上達成も厳しいことから、さらなる貸付金が発生することが予想されます。

私は、振興公社の社長として、また、市長として、社員の生活と市内経済を守っていく責務がありますので、振興公社に対する新たな貸付を実施したいと考えておりますので、市民の皆様のご理解をお願いします。

最後に

私は、昨年選挙時からの私の振興公社に関する言動や、市長就任後における経営状況の悪化など、この間の責任を痛感しているところであります。また、この間、新聞報道等により振興公社問題が取り上げられるたびに、市民の皆さんや関係者の皆さんに多大なご心配とご苦勞をおかけしましたことを、改めて深くお詫び申し上げます。

しかしながら、温泉会計を新たな指定管理者に託すこととなる4月までは、温泉やホテルでの宿泊を楽しみにしているお客様のためにも、振興公社の経営を続けなければならないと固く決意しております。

市民の皆様のご理解とご支援をお願いいたします。